

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
第1章	第1章 スポーツ推進基本計画策定の趣旨
1. 計画策定の趣旨	1. 計画策定の趣旨
<p>国では、スポーツを通じ「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現を使命として、平成 27 年 10 月にスポーツ庁を発足しました。平成 29 年 3 月には第 2 期スポーツ基本計画を策定し、多面にわたるスポーツの価値を高め広く国民に伝えていくため、「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことを基本方針として提示しました。</p> <p>また、長野県においても平成 30 年 3 月に「第 2 次長野県スポーツ推進計画」を策定し、スポーツを通じた元気な長野県の実現を目指し、4 つの基本目標を掲げ取り組むこととしています。特に、2027 年に長野県での開催が内定している国民体育大会・全国障害者スポーツ大会を見据えた施策を明らかにしました。</p> <p>千曲市では平成 26 年に「千曲市スポーツ推進基本計画」を策定し、これにもとづいて市のスポーツ振興施策を推進してきましたが、計画期間の満了を迎えることから、「第二次千曲市スポーツ推進基本計画」を策定し、これまでのスポーツ推進施策を検証するとともに、10 年後の目指す姿と取り組むべき施策の方向を明らかにします。</p>	<p>国ではスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、50 年ぶりに「スポーツ振興法」を全面改正し、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる「スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）」を定めました。</p> <p>長野県においても、「長野県スポーツ振興計画（H20～H24）」の計画期間満了にひきつづき、国の新法を受け、県民のスポーツに対するニーズの変化への対応や、多方面におけるスポーツの価値の積極的な活用などスポーツ推進の方向性や方策を県民に明らかにするため「長野県スポーツ推進計画」を策定しました。</p> <p>千曲市では平成 24 年に「スポーツ・健康都市宣言」がされた中、スポーツに寄せられる期待に応え、現代の社会環境や千曲市の状況を踏まえ、今後の千曲市のスポーツ振興施策をより体系的・効果的に推進するために、21 年度に 10 年計画として策定した「千曲市スポーツ振興基本計画」について、中間見直しを行い、併せて、国の新法の方向性を斟酌し、計画名を「千曲市スポーツ推進基本計画」と変更し、策定をしたものです。</p>
2. 計画の性格（位置づけ）	2. 計画の性格（位置づけ）
<p>「第二次千曲市スポーツ推進基本計画」は、「第 2 期スポーツ基本計画」（平成 29 年 3 月 スポーツ庁）及び、「第 2 次長野県スポーツ推進計画」（平成 30 年 3 月 長野県教育委員会）を踏まえ、「第二次千曲市総合計画（平成 29 年）」に掲げる基本目標のうち、生涯学習スポーツ文化芸術の分野における施策を具体化するものとして位置づけています。</p>	<p>「スポーツ基本法」にもとづき、「市民みなスポーツ」を推進するための計画であり、文部科学省が平成 24 年 3 月に策定した「スポーツ基本計画」及び、長野県教育委員会が平成 25 年度に策定した「長野県スポーツ推進計画」を参考にした千曲市独自の計画です。</p> <p>内容については「千曲市総合計画（後期基本計画）」を基調とし、平成 21 年度に策定した「千曲市スポーツ振興基本計画」の後期計画として「千曲市スポーツ振興懇話会」の提言を受け策定したものです。</p>
3. 計画の構成	3. 計画の構成
<p>第 1 章：第二次千曲市スポーツ推進基本計画策定の趣旨 （計画策定の趣旨、計画の位置づけ、構成を示します。）</p> <p>第 2 章：計画の基本的な考え方 （計画の基本的な考え方とその背景を示します。）</p> <p>第 3 章：「市民みなスポーツ」を目指して （「生涯スポーツ」を推進する方策と目標を示します。）</p> <p>第 4 章：「競技スポーツの強化」を目指して （「競技力向上」を推進する方策と目標を示します。）</p> <p>第 5 章：スポーツ施設・環境の整備と充実 （スポーツ施設の整備等、ハード面の計画を示します。）</p>	<p>第 1 章：千曲市スポーツ推進基本計画策定の趣旨 （計画策定の趣旨、計画の位置づけ、構成を示します。）</p> <p>第 2 章：計画の基本的な考え方 （計画の基本的な考え方とその背景を示します。）</p> <p>第 3 章：「市民みなスポーツ」を目指して （「生涯スポーツ」を推進する方策と目標を示します。）</p> <p>第 4 章：「競技スポーツの強化」を目指して （「競技力向上」を推進する方策と目標を示します。）</p> <p>第 5 章：スポーツ施設・環境の整備と充実 （スポーツ施設の整備等、ハード面の計画を示します。）</p> <p>第 6 章：地域特性を活かしたスポーツイベント （市の特性を活かした事業推進計画を示します。）</p>
4. 計画期間	4. 計画期間
<p>計画の期間は平成 31 年度（2019 年度）から平成 40 年度（2028 年度）までの 10 年間とします。</p>	<p>計画の期間は平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間とします。</p> <p>平成 25 年度に見直しを行い、計画名を「スポーツ基本法」が制定されたことに基づき、「千曲市スポーツ推進基本計画」としました。</p>
5. 推進体制	5. 推進体制
<p>本計画は、教育機関、市関係課等、国・県の機関と連携・協力しながら施策を進めるとともに、※千曲市スポーツ振興懇話会において、策定後の事業実施状況や効果について計画年度内に評価、検証を重ねて行い、事業の推進を図ります。</p> <p>※千曲市スポーツ振興懇話会</p>	<p>計画をより効果的に実施していくには、関係団体が連携をとると同時に、目標と達成度を確認、評価することが必要です。</p> <p>本計画は、教育機関、市関係部署、国・県の機関と連携をとりながら施策を進めるとともに、※千曲市スポーツ振興懇話会を基点とし、策定後の事業実施状況や効果について、計画年度内に評価、検証を重ねて行い、事業の推進を図ります。</p>

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
<p>スポーツ振興をテーマに学識や経験等を持った委員によって構成される組織です。本計画の策定にあたっては懇話会の会議を通じて出た意見を取りまとめ、千曲市教育委員会に提言を行いました。</p>	<p>※千曲市スポーツ振興懇話会 スポーツの振興について、学識や経験、地域等広くまた専門的分野から提言できるよう組織されています。 現在委員は 10 名から構成され、本計画の策定にあたって提言を受けています。</p>
<p>第 2 章 計画の基本的な考え方</p>	<p>第 2 章 計画の基本的な考え方</p>
<p>1. スポーツの価値</p>	<p>1. スポーツ活動の意義</p>
<p>国の第 2 期スポーツ基本計画において、スポーツの価値を①スポーツで「人生」が変わる！②スポーツで「社会」を変える！③スポーツで「世界」とつながる！④スポーツで「未来」を創る！の 4 つの指針であらわし、スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創ることを基本方針としています。</p> <p>また、スポーツは「みんなのもの」という考え方のもと、競技としてのスポーツだけではなく、健康・仲間との交流などスポーツには様々な形があり、さらに「する」「みる」「ささえる」と参画の仕方も多様で、これらを通じてすべての人がスポーツの価値を享受できるとしています。</p> <p>これまでのスポーツとの関わり方は、どちらかと言えば「する」ことに重きを置いており、いかに「する」人口を増やしていくかがスポーツ行政の施策の中心でした。日常的な運動が健康増進に有益であることは言うまでもなく、市民の健康を願う千曲市の責務として今後もより一層力を入れて取り組んでいきます。これに加えて「みる」「ささえる」ことによって得られるスポーツの価値についてもしっかりと着目したうえで、その価値を市民に広く説明し、「みる」「ささえる」のきっかけとなる施策を展開することにより、人と人との「共感」や「つながり」の意識を醸成し、社会全体が抱える様々な課題を解決する大きな力としていく必要があります。</p>	<p>健康でいきいきとした生活を送ることは、私たちの切なる願いです。</p> <p>「健康」の定義について、WHO（世界保健機関）では「完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」としています。</p> <p>現代の私たちを取り巻く環境は、高度な経済成長に支えられ、安全で快適な生活環境であると言えますが、反面、運動不足や精神的なストレス、孤立環境など「健康」を維持するにつけては必ずしも良い環境であるとは言えません。また、少子高齢化や医療費の伸びについては社会問題化しており、その対策を早急に講じなければならない状況です。</p> <p>健康づくりの 3 原則は、「栄養」「運動」「休養」といわれ、それぞれの要素について正しい理解と実践が必要です。</p> <p>「運動」とはスポーツ活動そのものを指し、「休養」についても、あえて軽い運動をして疲労を和らげる「積極的休養」が有効な方法として紹介されており、正に体を動かすことは健康づくりに欠かせない重要な要素です。</p> <p>また、社会的な意義を考えると、スポーツの祭典「オリンピック」の開催趣旨として「いかなる差別をも伴うことなく、友情、連帯、フェアプレーの精神をもって相互に理解しあうオリンピック精神に基づいて行われるスポーツを通して青少年を教育することにより、平和でよりよい世界をつくることに貢献することにある。」とあります。</p> <p>スポーツ活動は、身体を動かすことにより爽快感、達成感を感じるだけでなく、他者との連帯感など精神的充足や楽しさ、喜びをもたらし、特に成長期の青少年には必要な活動のひとつといえます。本当の意味での健康の保持増進、また青少年の育成に資するスポーツ活動を推進することは、今後社会として取り組まなければならない大きな課題と考えます。</p>
<p>2. 千曲市の現状と課題</p>	<p>2. 千曲市の現状と課題</p>
	<p>(1)「健康」を目指して</p> <p>平成 22 年度県民健康・栄養調査によると、長野県民は、高血圧、糖尿病、脂質異常のうち、高血圧が強く疑われる人の割合が最も多く、40～74 歳男性では約 5 割、同女性は 3 割となっています。また、メタボリックシンドロームが「強く疑われる人」と「予備軍と考えられる人」を合わせると、40～74 歳男性では約 5 割となっています。</p> <p>これらは、全国と比較すると、糖尿病、脂質異常の割合は全国よりも低いですが、高血圧、メタボリックシンドロームの割合は全国と差がない結果です。</p> <p>千曲市の医療費の状況については、平成 24 年の後期高齢医療費の 1 人当たりの医療費を参考にしてみると、長野県 19 市中では 1 位で、国・県の平均値と比較しても医療費が多くかかっている状況です。</p> <p>一方、健康づくりのための身体活動・運動の指標とされる「歩数」について、長野県民の平均歩数（1 日）は男性で 8,282 歩、女性で 6,966 歩で、</p> <p>別に調査した全国調査によれば男女とも平均以上（男性 19 位・女性 11 位）というデータもありますが、生活習慣病予防のために目指したい目標（10,000 歩）には達していません。</p> <p>WHO（世界保健機関）では、2000 年に「健康寿命」という言葉を公表しました。これは、日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のことをいい、平均寿命から介護（自立した生活ができない）年数を引いた数が健康寿命です。</p> <p>「健康」を願うとき、単に寿命の延伸だけでなく、この健康寿命をいかに延ばすかが大きな課題であ</p>

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)																																																																																																																																														
	り、生活習慣病の予防が大きな鍵とされる中、市民の一層の健康増進を目指し、各分野が連携して取り組む必要があります。																																																																																																																																														
<p>(1) スポーツに関するアンケート結果より 平成 30 年度に「スポーツに関するアンケート」を実施しました。これは、千曲市民のうち、成人 (20 歳以上) と小・中学生 (小学 4 年生以上中学生まで) について実施し 1,780 件の回答をいただきました。</p> <table border="1" data-bbox="127 472 1127 546"> <tr> <td>アンケート実施状況</td> <td>成人 : 発送数 1,600 件</td> <td>回答数 608 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学生 : 回答数 725 件</td> <td>中学生 : 回答数 377 件</td> </tr> </table> <p>■20 歳以上成人対象アンケートより</p> <p>質問 あなたの健康と体力についての感じ方について。</p> <table border="1" data-bbox="127 688 1127 871"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.健康で体力にも自信がある</td> <td>5.0%</td> <td>6.3%</td> <td>-1.3%</td> </tr> <tr> <td>2.普通である</td> <td>43.6%</td> <td>44.4%</td> <td>-0.8%</td> </tr> <tr> <td>3.多少不安がある</td> <td>48.8%</td> <td>46.9%</td> <td>+1.9%</td> </tr> <tr> <td>4.分らない</td> <td>2.7%</td> <td>2.4%</td> <td>+0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>質問 日頃、健康維持のためにどのようなことに注意していますか。 (複数回答)</p> <table border="1" data-bbox="127 982 1127 1270"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.食生活</td> <td>63.9%</td> <td>72.6%</td> <td>-8.7%</td> </tr> <tr> <td>2.休養や睡眠</td> <td>46.8%</td> <td>59.1%</td> <td>-12.3%</td> </tr> <tr> <td>3.運動やスポーツ</td> <td>31.2%</td> <td>34.0%</td> <td>-2.8%</td> </tr> <tr> <td>4.規則正しい生活</td> <td>48.8%</td> <td>46.5%</td> <td>+2.3%</td> </tr> <tr> <td>5.飲酒・喫煙等</td> <td>23.4%</td> <td>25.9%</td> <td>-2.5%</td> </tr> <tr> <td>6.その他</td> <td>1.2%</td> <td>4.3%</td> <td>-3.1%</td> </tr> <tr> <td>7.特になし</td> <td>10.6%</td> <td>(データなし)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「あなたの健康と体力の感じ方」について、「健康で体力にも自信がある」「普通である」とする回答は 48.6%で、前回調査より 1.8 ポイント減少しています。 「健康維持の為に注意している事」としては、「運動やスポーツ」は 31.2%で、「食生活」の 63.9%「休養や睡眠」の 46.8%「規則正しい生活」の 48.8%を下回っています。「運動・スポーツ」は、日常生活に新しいリズムを作り出すことが必要となり、いかに最初の一步を踏み出すかが重要です。</p> <p>質問 あなたは一週間に 1 回以上運動、スポーツをしていますか。</p> <table border="1" data-bbox="127 1564 1127 1669"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.している</td> <td>43.8%</td> <td>50.4%</td> <td>-6.6%</td> </tr> <tr> <td>2.していない</td> <td>56.2%</td> <td>49.6%</td> <td>+6.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>千曲市民における、1 週間に 1 回以上運動、スポーツをしている 20 歳以上の成人の割合 (スポーツ実施率) は、43.8%でした。 千曲市における平成 25 年の調査と比較すると、6.6%減少しています。全国における平成 28 年の調査結果は 42.5%でこれと比較すると若干上回っていますが、全国の目標である 65.0%には程遠い状況です。 「していない」と回答した人の理由の上位 (複数回答) は、「忙しくて時間がない」が 50.3%、「仲間がいない」が 22.2%、「体力がない、健康を害している」が 22.2%などでした。</p> <p>「スポーツを週 1 回以上している人」が多い年代は以下のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="127 1963 1127 2001"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	アンケート実施状況	成人 : 発送数 1,600 件	回答数 608 件		小学生 : 回答数 725 件	中学生 : 回答数 377 件		(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)	1.健康で体力にも自信がある	5.0%	6.3%	-1.3%	2.普通である	43.6%	44.4%	-0.8%	3.多少不安がある	48.8%	46.9%	+1.9%	4.分らない	2.7%	2.4%	+0.3%		(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)	1.食生活	63.9%	72.6%	-8.7%	2.休養や睡眠	46.8%	59.1%	-12.3%	3.運動やスポーツ	31.2%	34.0%	-2.8%	4.規則正しい生活	48.8%	46.5%	+2.3%	5.飲酒・喫煙等	23.4%	25.9%	-2.5%	6.その他	1.2%	4.3%	-3.1%	7.特になし	10.6%	(データなし)			(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)	1.している	43.8%	50.4%	-6.6%	2.していない	56.2%	49.6%	+6.6%		(H30 調査)	(H25 調査)				<p>(2) スポーツに関するアンケート結果より 平成 25 年 11 月に「スポーツに関するアンケート」を実施しました。これは、千曲市民のうち、成人 (20 歳以上) と小・中学生 (小学 4 年生以上中学生まで) について実施し 1,780 件の回答をいただきました。</p> <table border="1" data-bbox="1412 504 2418 577"> <tr> <td>アンケート実施状況</td> <td>成人 : 発送数 1,600 件</td> <td>回答数 679 件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小学生 : 回答数 738 件</td> <td>中学生 : 回答数 363 件</td> </tr> </table> <p>■20 歳以上成人対象アンケートより</p> <p>質問 あなたの健康と体力についての感じ方について。</p> <table border="1" data-bbox="1412 724 2418 907"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.健康で体力にも自信がある</td> <td>6.3%</td> <td>8.1%</td> <td>-1.8%</td> </tr> <tr> <td>2.普通である</td> <td>44.4%</td> <td>49.3%</td> <td>-4.9%</td> </tr> <tr> <td>3.多少不安がある</td> <td>46.9%</td> <td>39.7%</td> <td>+7.2%</td> </tr> <tr> <td>4.分らない</td> <td>2.4%</td> <td>2.9%</td> <td>-0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>質問 日頃、健康維持のためにどのようなことに注意していますか。 (複数回答)</p> <table border="1" data-bbox="1412 1018 2418 1270"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.食生活</td> <td>72.6%</td> <td>69.0%</td> <td>+3.6%</td> </tr> <tr> <td>2.休養や睡眠</td> <td>59.1%</td> <td>51.2%</td> <td>+7.9%</td> </tr> <tr> <td>3.運動やスポーツ</td> <td>34.0%</td> <td>29.8%</td> <td>+4.2%</td> </tr> <tr> <td>4.規則正しい生活</td> <td>46.5%</td> <td>42.0%</td> <td>+4.5%</td> </tr> <tr> <td>5.飲酒・喫煙等</td> <td>25.9%</td> <td>13.0%</td> <td>+12.9%</td> </tr> <tr> <td>6.その他</td> <td>4.3%</td> <td>3.8%</td> <td>+0.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「あなたの健康と体力の感じ方」について、「健康で体力にも自信がある」「普通である」とする回答は 50.7%で、平成 20 年調査より 6.7%も減少しています。(H20 調査 : 57.4%) 「健康維持の為に気をつけている事」としては、「運動やスポーツ」は 34.0%で、「食生活」の 72.6%「休養や睡眠」の 59.1%よりも大きく劣っており、これは前回の順位と同様です。 健康の三要素は、「運動」「栄養」「休養」が挙げられます。毎日必然的に摂る食事や睡眠は取り組みやすい状況にありますが、「運動」は、日常生活に新しいリズムを作り出すことが必要となり、取り組みにくい状況が現れています。</p> <p>質問 あなたは一週間に 1 回以上運動、スポーツをしていますか。</p> <table border="1" data-bbox="1412 1743 2418 1848"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.している</td> <td>50.4%</td> <td>43.9%</td> <td>+6.5%</td> </tr> <tr> <td>2.していない</td> <td>49.6%</td> <td>56.1%</td> <td>-6.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>千曲市民における、1 週間に 1 回以上運動、スポーツをしている 20 歳以上の成人の割合 (スポーツ実施率) は、50.4%でした。 前回の調査からみると、6.5%増加しており、前の質問項目「日頃、健康維持のためにどのようなことに注意していますか。」の結果においても、「運動やスポーツ」と回答する人は 4.2%増加しているこ</p>	アンケート実施状況	成人 : 発送数 1,600 件	回答数 679 件		小学生 : 回答数 738 件	中学生 : 回答数 363 件		(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)	1.健康で体力にも自信がある	6.3%	8.1%	-1.8%	2.普通である	44.4%	49.3%	-4.9%	3.多少不安がある	46.9%	39.7%	+7.2%	4.分らない	2.4%	2.9%	-0.5%		(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)	1.食生活	72.6%	69.0%	+3.6%	2.休養や睡眠	59.1%	51.2%	+7.9%	3.運動やスポーツ	34.0%	29.8%	+4.2%	4.規則正しい生活	46.5%	42.0%	+4.5%	5.飲酒・喫煙等	25.9%	13.0%	+12.9%	6.その他	4.3%	3.8%	+0.5%		(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)	1.している	50.4%	43.9%	+6.5%	2.していない	49.6%	56.1%	-6.5%
アンケート実施状況	成人 : 発送数 1,600 件	回答数 608 件																																																																																																																																													
	小学生 : 回答数 725 件	中学生 : 回答数 377 件																																																																																																																																													
	(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)																																																																																																																																												
1.健康で体力にも自信がある	5.0%	6.3%	-1.3%																																																																																																																																												
2.普通である	43.6%	44.4%	-0.8%																																																																																																																																												
3.多少不安がある	48.8%	46.9%	+1.9%																																																																																																																																												
4.分らない	2.7%	2.4%	+0.3%																																																																																																																																												
	(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)																																																																																																																																												
1.食生活	63.9%	72.6%	-8.7%																																																																																																																																												
2.休養や睡眠	46.8%	59.1%	-12.3%																																																																																																																																												
3.運動やスポーツ	31.2%	34.0%	-2.8%																																																																																																																																												
4.規則正しい生活	48.8%	46.5%	+2.3%																																																																																																																																												
5.飲酒・喫煙等	23.4%	25.9%	-2.5%																																																																																																																																												
6.その他	1.2%	4.3%	-3.1%																																																																																																																																												
7.特になし	10.6%	(データなし)																																																																																																																																													
	(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)																																																																																																																																												
1.している	43.8%	50.4%	-6.6%																																																																																																																																												
2.していない	56.2%	49.6%	+6.6%																																																																																																																																												
	(H30 調査)	(H25 調査)																																																																																																																																													
アンケート実施状況	成人 : 発送数 1,600 件	回答数 679 件																																																																																																																																													
	小学生 : 回答数 738 件	中学生 : 回答数 363 件																																																																																																																																													
	(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)																																																																																																																																												
1.健康で体力にも自信がある	6.3%	8.1%	-1.8%																																																																																																																																												
2.普通である	44.4%	49.3%	-4.9%																																																																																																																																												
3.多少不安がある	46.9%	39.7%	+7.2%																																																																																																																																												
4.分らない	2.4%	2.9%	-0.5%																																																																																																																																												
	(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)																																																																																																																																												
1.食生活	72.6%	69.0%	+3.6%																																																																																																																																												
2.休養や睡眠	59.1%	51.2%	+7.9%																																																																																																																																												
3.運動やスポーツ	34.0%	29.8%	+4.2%																																																																																																																																												
4.規則正しい生活	46.5%	42.0%	+4.5%																																																																																																																																												
5.飲酒・喫煙等	25.9%	13.0%	+12.9%																																																																																																																																												
6.その他	4.3%	3.8%	+0.5%																																																																																																																																												
	(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)																																																																																																																																												
1.している	50.4%	43.9%	+6.5%																																																																																																																																												
2.していない	49.6%	56.1%	-6.5%																																																																																																																																												

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)																																																							
1位	70代女性	61.3%	68.3%																																																				
2位	20代男性	57.1%	50.0%																																																				
3位	80代女性	55.6%	53.3%																																																				
<p>反対に「スポーツを週1回以上している人」が少ない年代は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>20代女性</td> <td>23.5%</td> <td>30.3%</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>30代女性</td> <td>28.1%</td> <td>32.6%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>50代女性</td> <td>30.9%</td> <td>51.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、「スポーツを週1回以上している人」のうち、「現在している運動、スポーツ」は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>ウォーキング</td> <td>48.2%</td> <td>57.5%</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>体操(ストレッチなど)</td> <td>24.5%</td> <td>24.8%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>トレーニング機器を使った運動</td> <td>19.5%</td> <td>9.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「スポーツを週1回以上している人」は、特に60歳以上の男女で高く、20代、30代、50代の女性で低い結果となりました。高齢の人ほど健康に対する意識が高く、若年層の女性が運動から遠ざかっている傾向が見られました。</p> <p>実施種目については、特に「ウォーキング」はいずれの年齢・男女においても1位で、体操・ジョギングなど個人で行う種目が全体として上位を占め傾向は前回調査と同様の傾向を示しています。また、「トレーニング機器を使った運動」では、順位は前回同様3位ですが、割合が19.5%と前回調査より10ポイントほど増えています。</p> <p>質問 「スポーツ、運動をしていない人」は、条件がそろえばしてみたいですか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H30 調査)</th> <th>(H25 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.してみたい</td> <td>70.4%</td> <td>75.1%</td> <td>-4.7%</td> </tr> <tr> <td>2.したくない</td> <td>7.8%</td> <td>7.8%</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>3.わからない</td> <td>21.7%</td> <td>17.1%</td> <td>+4.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「運動、スポーツをしていない人」のうち、「条件がそろえばしてみたい」とする人は70.4%であり、前回調査の75.1%を下回ったものの依然として高い傾向を示しており、ここで「条件がそろえば運動をしてみたい」と回答した人をどのように習慣的な運動実施者へ誘導するかが運動実施率向上の大きなポイントとなります。</p> <p>「今後してみたい運動(複数回答)」として、ウォーキングが57.8%(前回43.9%)や体操29.3%(前回24.8%)トレーニング機器を使った運動23.4%(前回20.2%)となっています。</p> <p>「運動・スポーツをしている目的」について見ると87.5%の人が「健康・体力づくり」を挙げ、次いで36.6%の人が「余暇時間を使つての楽しみ、ストレス解消」としています。</p> <p>質問 スポーツの試合を競技場に出向いて観戦したことがありますか (前回調査では設問なし)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(H30 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. ある</td> <td>54.9%</td> </tr> <tr> <td>2. ない</td> <td>45.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>この設問は、スポーツを「みる」ことによって得られる価値について市民がどのように考えているか、どのような施策を展開すればより多くの市民に価値を届けられるかを検討するために追加しました。半数以上の人が競技場に出向いて観戦したことがあるとの結果でした。</p>					(H30 調査)	(H25 調査)	1位	20代女性	23.5%	30.3%	2位	30代女性	28.1%	32.6%	3位	50代女性	30.9%	51.7%		(H30 調査)	(H25 調査)	1位	ウォーキング	48.2%	57.5%	2位	体操(ストレッチなど)	24.5%	24.8%	3位	トレーニング機器を使った運動	19.5%	9.4%		(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)	1.してみたい	70.4%	75.1%	-4.7%	2.したくない	7.8%	7.8%	増減なし	3.わからない	21.7%	17.1%	+4.6%	(H30 調査)		1. ある	54.9%	2. ない	45.1%
	(H30 調査)	(H25 調査)																																																					
1位	20代女性	23.5%	30.3%																																																				
2位	30代女性	28.1%	32.6%																																																				
3位	50代女性	30.9%	51.7%																																																				
	(H30 調査)	(H25 調査)																																																					
1位	ウォーキング	48.2%	57.5%																																																				
2位	体操(ストレッチなど)	24.5%	24.8%																																																				
3位	トレーニング機器を使った運動	19.5%	9.4%																																																				
	(H30 調査)	(H25 調査)	(対比)																																																				
1.してみたい	70.4%	75.1%	-4.7%																																																				
2.したくない	7.8%	7.8%	増減なし																																																				
3.わからない	21.7%	17.1%	+4.6%																																																				
(H30 調査)																																																							
1. ある	54.9%																																																						
2. ない	45.1%																																																						

千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)																																																																
<p>とからも、健康づくりのために運動をはじめの人が増えている傾向が伺えます。</p> <p>「スポーツを週1回以上している人」が多い年代は、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>70代女性</td> <td>68.3%</td> <td>42.1% : 70歳以上</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>60代女性</td> <td>63.4%</td> <td>61.5%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>70代男性</td> <td>62.9%</td> <td>56.4% : 70歳以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H20では70歳以上としていたものを、H25では70代、80歳以上の区分に分け調査)</p> <p>反対に「スポーツを週1回以上している人」が少ない年代は、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>30代男性</td> <td>22.2%</td> <td>31.4%</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>20代女性</td> <td>30.3%</td> <td>17.1%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>40代女性</td> <td>30.4%</td> <td>33.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、「スポーツを週1回以上している人」のうち、「現在している運動、スポーツ」は、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>ウォーキング</td> <td>57.5%</td> <td>53.7%</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>体操(ストレッチなど)</td> <td>24.8%</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>トレーニング機器を使った運動</td> <td>9.4%</td> <td>7.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「スポーツを週1回以上している人」が多い年代は、前回同様60歳以上では多くみられ、特に今回の集計では、前回70歳以上とした抽出を70歳代と80歳以上に分けた結果、70歳代の運動の様子が明らかになり、70歳代の女性では68.3%と高い運動実施率を見ることができました。</p> <p>また、「スポーツを週1回以上している人」が少ない年代を見ると、30歳代の男性が前回の結果を9.2%も下回り、「スポーツをしない年代第1位」となりましたが、20歳代女性では「スポーツをしない年代第2位」でありながら、13.2%も平成20年調査より実施率が伸びています。</p> <p>実施種目については、特に、「ウォーキング」は、いずれの年齢・男女においても1位で、体操、ジョギングなど個人で行う種目が全体として上位を占め、団体競技や競技性の高いスポーツなどが下位となっている傾向は前回と同様です。</p> <p>質問 「スポーツ、運動をしていない人」は、条件がそろえばしてみたいですか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(H25 調査)</th> <th>(H20 調査)</th> <th>(対比)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.してみたい</td> <td>75.1%</td> <td>70.4%</td> <td>+4.7%</td> </tr> <tr> <td>2.したくない</td> <td>7.8%</td> <td>9.3%</td> <td>-1.5%</td> </tr> <tr> <td>3.わからない</td> <td>17.1%</td> <td>20.3%</td> <td>-3.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「運動、スポーツをしていない人」のうち、「条件がそろえばしてみたい」とする人は75.1%であり、前回の70.4%を更に大きく上回り、強い関心を見ることができました。「今後してみたい運動」として、ウォーキングが43.9%(前回43.9%)や体操24.8%、水泳21.6%などが挙げられています。「運動・スポーツをしている目的(問7(1-2))」について見ると80.8%の人が、「健康・体力づくり」を挙げ、次いで40.8%の人が「余暇時間を使つての楽しみ、ストレス解消」としており、成人にとってスポーツの効用は「健康づくり」と多くの人が期待していることがわかります。</p> <p>「市民みなスポーツ」を推進し、まちづくり、仲間づくり、健康づくりを目指すとき、競技スポーツやスポーツ団体の育成に取り組むと同時に、運動実施率を高め、健康づくりに資する「気軽に個人でも取り組める有酸素運動」の普及に努めることが必要であると考えられます。</p> <p>■小・中学生対象アンケートより</p> <p>質問 あなたは体を動かすこと(運動やスポーツなど)は好きですか。</p>					(H25 調査)	(H20 調査)	1位	70代女性	68.3%	42.1% : 70歳以上	2位	60代女性	63.4%	61.5%	3位	70代男性	62.9%	56.4% : 70歳以上		(H25 調査)	(H20 調査)	1位	30代男性	22.2%	31.4%	2位	20代女性	30.3%	17.1%	3位	40代女性	30.4%	33.3%		(H25 調査)	(H20 調査)	1位	ウォーキング	57.5%	53.7%	2位	体操(ストレッチなど)	24.8%	20.8%	3位	トレーニング機器を使った運動	9.4%	7.9%		(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)	1.してみたい	75.1%	70.4%	+4.7%	2.したくない	7.8%	9.3%	-1.5%	3.わからない	17.1%	20.3%	-3.2%
	(H25 調査)	(H20 調査)																																																														
1位	70代女性	68.3%	42.1% : 70歳以上																																																													
2位	60代女性	63.4%	61.5%																																																													
3位	70代男性	62.9%	56.4% : 70歳以上																																																													
	(H25 調査)	(H20 調査)																																																														
1位	30代男性	22.2%	31.4%																																																													
2位	20代女性	30.3%	17.1%																																																													
3位	40代女性	30.4%	33.3%																																																													
	(H25 調査)	(H20 調査)																																																														
1位	ウォーキング	57.5%	53.7%																																																													
2位	体操(ストレッチなど)	24.8%	20.8%																																																													
3位	トレーニング機器を使った運動	9.4%	7.9%																																																													
	(H25 調査)	(H20 調査)	(対比)																																																													
1.してみたい	75.1%	70.4%	+4.7%																																																													
2.したくない	7.8%	9.3%	-1.5%																																																													
3.わからない	17.1%	20.3%	-3.2%																																																													

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)					千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)																											
■小・中学生対象アンケートより					小学生 (H20 調査) 中学生 (H20 調査)																											
質問 あなたは体を動かすこと (運動やスポーツなど) は好きですか。					5. 大好き	52.4% (60.5%)	43.7% (40.8%)																									
					6. まあまあ好き	34.8% (27.7%)	35.7% (41.1%)																									
					7. どちらでもない	10.4% (9.9%)	14.2% (14.0%)																									
					8. きらい	2.5% (1.9%)	6.4% (4.1%)																									
質問 いま何か運動やスポーツを、週1回以上していますか。(授業以外)					質問 どんな運動・スポーツをしていますか。(複数回答)																											
					(小学生：男子) (H25 調査) (H20 調査)																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学生 (H30)</th> <th>(H25)</th> <th>中学生 (H30)</th> <th>(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 大好き</td> <td>56.0%</td> <td>52.4%</td> <td>43.6%</td> <td>43.7%</td> </tr> <tr> <td>2. まあまあ好き</td> <td>29.8%</td> <td>34.8%</td> <td>39.3%</td> <td>35.7%</td> </tr> <tr> <td>3. どちらでもない</td> <td>10.6%</td> <td>10.4%</td> <td>12.6%</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>4. きらい</td> <td>3.6%</td> <td>3.6%</td> <td>4.5%</td> <td>6.4%</td> </tr> </tbody> </table>						小学生 (H30)	(H25)	中学生 (H30)	(H25)	1. 大好き	56.0%	52.4%	43.6%	43.7%	2. まあまあ好き	29.8%	34.8%	39.3%	35.7%	3. どちらでもない	10.6%	10.4%	12.6%	14.2%	4. きらい	3.6%	3.6%	4.5%	6.4%	1位 サッカー・フットサル 39.3% 2位：26.5%		
	小学生 (H30)	(H25)	中学生 (H30)	(H25)																												
1. 大好き	56.0%	52.4%	43.6%	43.7%																												
2. まあまあ好き	29.8%	34.8%	39.3%	35.7%																												
3. どちらでもない	10.6%	10.4%	12.6%	14.2%																												
4. きらい	3.6%	3.6%	4.5%	6.4%																												
					2位 野球 27.4% 1位：42.1%																											
					3位 水泳 20.1% 2位：26.5%																											
					4位 ハンドボール 11.6% 4位：11.2%																											
					5位 ドッジボール 10.6% 7位：4.0%																											
					(小学生：女子)																											
					1位 チアリーディング・ダンス 20.3% 10位：6.0%																											
					2位 水泳 19.1% 1位：19.9%																											
					3位 バドミントン 17.8% 3位：13.1%																											
					4位 ソフトボール 10.0% 4位：11.4%																											
					5位 テニス (ソフト・硬式) 9.5% 2位：14.8%																											
					(中学生：男子)																											
					1位 バスケットボール 25.0% 3位：14.7%																											
					2位 サッカー・フットサル 21.7% 1位：27.3%																											
					3位 野球 18.4% 2位：22.0%																											
					4位 ハンドボール 13.8% 4位：12.7%																											
					5位 水泳 7.2% 6位：10.7%																											
					(中学生：女子)																											
					1位 バレーボール 20.0% 3位：19.6%																											
					2位 テニス (ソフト・硬式) 18.9% 2位：23.7%																											
					3位 バスケットボール 13.3% 1位：33.0%																											
					4位 ハンドボール 12.2% 4位：14.4%																											
					5位 バドミントン 11.1% 6位：8.2%																											
質問 どんな運動・スポーツをしていますか。(複数回答)					○小学生は																											
					・・体を動かすこと (運動やスポーツ) は好きですか。・・																											
					「大好き」もしくは「まあまあ好き」とする回答は87.2%あり、平成20年調査の88.2%と比べ、小学生における運動・スポーツに対する関心の高さに大きな変化は見られませんが、「大好き」とする回答が平成20調査では60.5%あったものが、今回の調査では52.4%に減少しています。																											
					(小学生男子)																											
					H25 千曲市調査		H25 全国調査																									
					大好き 62.1%		好き 69.9%																									
					まあまあ好き 29.1%		やや好き 21.1%																									
					どちらでもない 7.7%		ややきらい 6.1%																									
					きらい 1.1%		きらい 2.8%																									
○体を動かすこと (運動やスポーツ) は好きですか。(小学生)																																
市内小学生の「大好き」もしくは「まあまあ好き」とする回答は85.8%であり、平成25年調査の87.2%と比べ、大きな変化は見られませんが、「大好き」及び「きらい」とする回答がわずかに増加しています。																																
(小学生全体)																																
					(H30)		(H25)																									
大好き					56.0%		大好き 52.4%																									

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)				千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)			
まあまあ好き	29.8%	やや好き	34.8%	(小学生女子)			
どちらでもない	10.6%	どちらでもない	10.4%	H25 千曲市調査	H25 全国調査		
きらい	3.6%	きらい	2.5%	大好き	42.8%	好き	50.4%
男女別は以下のとおりです。				まあまあ好き	40.4%	やや好き	30.8%
(小学生男子)				どちらでもない	13.0%	ややきらい	12.9%
	(H30)		(H25)	きらい	3.8%	きらい	5.9%
大好き	64.4%	大好き	42.8%	千曲市調査の「大好き」「まあまあ好き」と全国調査の「好き」「やや好き」を比較すると、男子は千曲市が91.2%、全国は91%、女子では千曲市が83.2%、全国は81.2%であり全国でも平均的であることが伺えます。			
まあまあ好き	24.5%	やや好き	40.4%	・ ・ ・ いま何か運動やスポーツを、週に1回以上していますか。 ・ ・ ・			
どちらでもない	9.1%	どちらでもない	13.0%	「している」とする回答は74.2%で、前回の80.2%より減少しています。大きく減少している学年としては、4年生の女子が平成20年調査の79.4%から56.4%(-23%)に減少し、次いで4年生男子が90.2%から83.6%(-6.6%)に減少していることが見られます。			
きらい	2.0%	きらい	3.8%	・ ・ ・ どんなスポーツをしていますか。 ・ ・ ・			
(小学生女子)				実施しているスポーツ種目については大きな変動があり、男子では、1番人気だった野球が、2番人気のサッカー・フットサルと逆転する状況が見られました。			
	(H30)		(H25)	また女子でも、平成20年調査10位のチアリーディング・ダンス(6.0%)が、今回は20.3%で1位に浮上しています。			
大好き	47.4%	大好き	42.8%	・ ・ ・ 運動やスポーツをもっとするようになるには。 ・ ・ ・			
まあまあ好き	35.2%	やや好き	40.4%	平成25年の全国調査(全国体力・運動能力・運動習慣等調査：文部科学省)による、「今後どのようなことがあれば今より運動やスポーツをしてみようと思いますか」という質問項目については、「好き・できそうな種目があれば」(男子65.0% 女子73.4%)、「友達と一緒にできるなら」(男子55.2% 女子64.3%)の回答が多くみられました。			
どちらでもない	12.2%	どちらでもない	13.0%	また千曲市調査では、「運動・スポーツをしていない理由」について、「塾や習い事で時間がない」(H25調査：29.0% H21調査：25.5%)が一番多く、全国調査でも「ほかにしていることがある」(42.1%)が理由の1位でありました。			
きらい	5.2%	きらい	3.8%	「運動・スポーツをしていない理由」のうち「運動・スポーツがきらい」なことが理由とするものは、千曲市の平成25年調査で9.5%と、比較的少数でありました。			
○いま何か運動やスポーツを、週に1回以上していますか。(小学生)				○中学生は			
「している」との回答は全体で72.9%となっており、前回調査の74.2%よりわずかに減少しています。特に6年生の女子では、「している」とする回答が前回調査の68.9%から56.3%に減少しています。				・ ・ ・ 体を動かすこと(運動やスポーツ)は好きですか。 ・ ・ ・			
○どんなスポーツをしていますか。(小学生)				「大好き」もしくは「まあまあ好き」とする回答は79.4%あり、平成20年調査の81.9%と比べ、中学生における運動・スポーツに対する関心の高さに大きな変化は見られません。			
実施しているスポーツ種目については、男子では1位から4位までは変動ありませんでしたが、前回調査で9位であったバドミントンが5位となっています。				(中学生男子)			
また女子では、前回調査で2位の水泳が1位となり、前回調査で7位であったバスケットボールが4位となるなど変動が見られました。				(H30)			
○体を動かすこと(運動やスポーツ)は好きですか。(中学生)				(H25)			
「大好き」もしくは「まあまあ好き」とする回答は82.9%あり、前回調査の79.4%と比べわずかに増加しています。きらいと回答する生徒は減少しています。				大好き			
(中学生全体)				43.6%			
				大好き			
				43.7%			
				まあまあ好き			
				39.3%			
				やや好き			
				35.7%			
				どちらでもない			
				12.6%			
				どちらでもない			
				14.2%			
				きらい			
				4.5%			
				きらい			
				6.4%			
男女別は以下のとおりです。				○中学生は			
(中学生男子)				・ ・ ・ 体を動かすこと(運動やスポーツ)は好きですか。 ・ ・ ・			
(H30)				「大好き」もしくは「まあまあ好き」とする回答は79.4%あり、平成20年調査の81.9%と比べ、中学生における運動・スポーツに対する関心の高さに大きな変化は見られません。			
(H25)				(中学生男子)			
大好き				53.1%			
大好き				57.4%			
まあまあ好き				34.0%			
まあまあ好き				30.9%			
どちらでもない				9.8%			
どちらでもない				6.9%			
きらい				3.1%			
きらい				4.8%			
				H25 千曲市調査			
				H25 全国調査			
				大好き			
				57.4%			
				好き			
				58.5%			

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)			
<p>(中学生女子)</p> <p>(H30)</p> <p>大好き 33.3%</p> <p>まあまあ好き 45.0%</p> <p>どちらでもない 15.6%</p> <p>きらい 6.1%</p> <p>(H25)</p> <p>大好き 28.7%</p> <p>やや好き 40.9%</p> <p>どちらでもない 22.2%</p> <p>きらい 8.2%</p> <p>中学生は男女ともに、「きらい」との回答が減少しています。</p> <p>○どのようにしていますか。(中学生)</p> <p>中学生の運動・スポーツの実施方法について、「学校の部活動に加入している」との回答は、75.0%であり、前回調査の70.8%から増加しています。「学校外のスポーツクラブに加入している」との回答は20.5%であり、前回調査の20.0%からわずかに増加しています。</p> <p>競技力の向上や、生涯に向けてのスポーツ活動の啓発を図るとき、児童期 からのみならず、幼児期の運動遊びなどが将来に向けてのスポーツライフの入口であることから、以降のスポーツ活動への動機付けが適切になされることも必要です。</p> <p>小・中学生及び幼児期では、スポーツを通して体を動かすことの楽しさを体験したり、仲間と競ったり協力しながら協調性を育むことが望ましく、学校だけでなく地域においても体制づくりが求められます。</p>	<p>まあまあ好き 30.9%</p> <p>どちらでもない 6.9%</p> <p>きらい 4.8%</p> <p>やや好き 28.1%</p> <p>ややきらい 8.7%</p> <p>きらい 4.7%</p> <p>(中学生女子)</p> <p>H25 千曲市調査</p> <p>大好き 28.7%</p> <p>まあまあ好き 40.9%</p> <p>どちらでもない 22.2%</p> <p>きらい 8.2%</p> <p>H25 全国調査</p> <p>好き 41.1%</p> <p>やや好き 31.6%</p> <p>ややきらい 17.0%</p> <p>きらい 10.3%</p> <p>全国調査と比較することは難しいですが、参考までに、千曲市調査の「大好き」「まあまあ好き」と全国調査の「好き」「やや好き」を比較すると、男子は千曲市が88.3%、全国は86.6%、女子では千曲市が69.6%、全国は72.7%であり、若干の差がありますが、全国平均的である様です。</p> <p>・・・どのようにしていますか・・・</p> <p>中学 2 年生について運動・スポーツの実施方法についてみると、「学校の部活動に加入している」は、平成 25 年千曲市調査で70.8%であり、平成 20 年同調査の75.8%より5%ほど減少している反面、「学校外のスポーツクラブに加入している」は、平成 25 年千曲市調査で20.0%であり、平成 20 年同調査での13.1%より約7%増えています。</p> <p>中学生のスポーツ活動については、前回の調査時同様活動の拠点は学校部活動にあることが見られますが、学校外のスポーツクラブでも前回調査より倍の約2割の生徒が活動しています。</p> <p>○小中学生のみならず、幼児から</p> <p>競技力の向上や、生涯に向けてのスポーツ活動の啓発を図るとき、児童期からのみならず、幼児期も含めた計画的な指導が有効であり、将来に向けてのスポーツライフの入口であることから、以降のスポーツ活動への動機付けが適切になされることも必要です。</p> <p>小・中学生及び幼児期では、スポーツを通して体を動かすことの楽しさを体験したり、仲間と競ったり協力しながら協調性を育むことが望ましく、学校だけでなく地域においても体制づくりが求められます。</p>			

(2) スポーツ推進事業

本市では、千曲市スポーツ協会等関係団体やスポーツ推進委員等と連携し、市民体育祭等各種競技大会を開催するとともに、初心者等を対象としたスポーツ教室を開催しています。

◇社会体育の主な事業 (回数、人)

事業	H25 年度		H26 年度		H27 年度		H28 年度		H29 年度	
	大会	参加者								
市民体育祭	31	2,513	31	2,159	30	2,263	27	2,406	27	2,213
市長杯大会	26	3,453	28	3,227	25	3,317	26	3,641	24	3,018
体育協会長杯	29	3,679	31	3,929	28	3,438	27	3,663	27	3,616

(3) スポーツ推進事業

本市では、千曲市体育協会等関係団体やスポーツ推進委員会等と連携し、市民体育祭等各種競技大会を開催するとともに、初心者等を対象としたスポーツ教室を開催しています。

事業	H20 年度		H21 年度		H22 年度		H23 年度		H24 年度	
	大会	参加者								
市民体育祭	29	2,669	29	2,541	30	3,310	30	2,654	31	2,855
市長杯大会	25	3,492	25	4,243	27	4,008	25	3,967	27	3,600
体育協会長杯	26	3,649	30	3,930	29	3,425	29	3,590	29	3,557
各種体育団体主催事業	25	5,006	23	3,577	17	3,156	13	2,793	24	4,065
その他事業	5	1,338	4	814	7	1,456	7	1,473	8	1,651

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)										
スポーツ教室	19	404	18	311	16	312	14	318	15	269
合計	105	10,049	108	9,626	99	9,330	94	10,028	93	9,116

事業	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	参加者	参加者	参加者	参加者	参加者
市内市民大会 (おぼすてマラソン等)	745	622	825	816	1,001
千曲川ロードレース (H27～千曲川 ハーフマラソン大会の み開催)	615	2,736	2,491	未開催	1,537
合計	1,360	3,358	3,316	816	2,538

市民体育祭等スポーツ大会は、千曲市スポーツ協会加盟団体が自主的に運営するもので、初心者からベテランまで気軽に参加することができます。
大会数、参加者ともに横ばい状況にありますが、今後も参加者のニーズを捉えた参加しやすい大会を目指す一方、新たな参加者の増加を目指し、初心者や幼児、小中学生、高齢者も対象にした大会や教室の開催とPR活動の強化を図ります。

千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)										
(おぼすてマラソン等)										
スポーツ教室	20	458	21	460	22	494	21	546	19	534
合計	130	16,612	132	15,565	132	15,849	125	15,023	138	16,262

◇社会体育の主な事業 (回数、人)

市民体育祭等スポーツ大会は、各種団体が自主的に運営する中、初心者からベテランまで気軽に参加できる体制です。
大会数、参加者ともに横ばい状況にありますが、今後も参加者のニーズを捉えた参加しやすい大会を目指す一方、新たな参加者の増加を目指し、初心者や小中学生、高齢者も対象にした大会や教室の開催とPR活動の強化を図ることが必要です。

(3) スポーツ団体の組織と活動

■スポーツ推進委員
国のスポーツ基本法に基づき設置された千曲市スポーツ推進委員は、市民に対するスポーツの実技指導、市が行うスポーツ事業への協力など、市民のスポーツ振興のための活動を進めています。
近年は、独自の事業として、市民参加のウォークラリーの開催、ワンバウンドふらばーのバレー体験教室などの新たなスポーツの普及や委員の活動を広く知っていただくための広報紙の発行などにも取り組んでいます。
委員が市内各地域から選出されており、市民にとって身近な指導者であることを活かし、特に市民の運動実施率向上に向け、市民の身近から強く発信し啓発を図る事業展開を図ることが課題です。

■千曲市スポーツ協会 (特定非営利活動法人)
市内の各種スポーツ団体は 29 団体、会員 5,320 人が加盟しており (H30 年度)、5 年間で 3 団体、会員数も 1161 名減少しました。
市内で開催される主なスポーツイベントを主催、主管しており、各スポーツ競技の競技力向上をはじめ、教室の開催などを通じて新規スポーツ実施者の窓口としても大きな役割を果たし、市民スポーツのよりどころとなっています。
今後も、各競技団体の活動を拠点に、新規加盟者や団体の増加を図り、市民の運動・スポーツの習慣化を目指すとともに、地域の活性化、地域コミュニケーションの醸成に資する新しい事業展開が期待されます。

◇千曲市スポーツ協会加盟団体 (H30 年度、人)

団体名	会員数	団体名	会員数	団体名	会員数
OB野球連盟	155	スキークラブ	29	ゴルフ協会	141
剣道連盟	57	マレットゴルフ協会	374	早起き野球連盟	279
卓球協会	52	射撃協会	36	水泳クラブ	35
柔道協会	28	空手道連盟	89	武術太極拳連盟	137

(4) スポーツ団体の組織と活動

■スポーツ推進委員
国のスポーツ基本法に基づき設置された千曲市スポーツ推進委員は、市民に対するスポーツの実技指導、市が行うスポーツ事業への協力など、市民のスポーツ振興のための活動を進めています。
近年は、独自の事業として、市民参加のウォークラリーの開催、新たなスポーツの普及や委員の活動を広く知っていただくための広報紙の発行などにも取り組んでいます。
委員が市内各地域から選出されており、市民にとって身近な指導者であることを活かし、特に市民の運動実施率向上に向け、市民の身近から強く発信し、啓発を図る事業展開を図ることが課題です。

■千曲市体育協会 (特定非営利活動法人)
市内の各種スポーツ団体 32 団体、会員 5,320 人 (H24 年度) が加盟しており、5 年間で 1 団体が増え、会員数も 311 名 (6.2%) 増加しました。
市内で開催される主なスポーツイベントを主催、主管しており、各スポーツ競技の競技力向上をはじめ、教室の開催などを通じて新規スポーツ実施者の窓口としても大きな役割を果たし、市民スポーツのよりどころとなっています。
今後も、各競技団体の活動を拠点に、新規加盟者や団体の増加を図り、市民の運動・スポーツの習慣化を目指すとともに、地域の活性化、地域コミュニケーションの醸成に資する新しい事業展開が期待されます。

◇体育協会加盟団体 (H24 年度、人)

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)					
バスケットボール協会	370	スポーツ少年団	316	ハンドボール協会	122
テニス協会	129	里山トレッキングクラブ	69	ちくま合気道会	5
バドミントン協会	67	サッカー協会	688	杏樹RGクラブ	49
少林寺拳法協会	65	ソフトバレー協会	120		
陸上部	65	ソフトテニス協会	57		
ソフトボール協会	343	弓道協会	75		
ゲートボール協会	55	ちくまバレーボール協会	152	合計	4,159

■スポーツ少年団

スポーツ少年団は、東京オリンピックを2年後に控えた昭和37年に、財団法人日本スポーツ協会が「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設し、現在では全国で団数31,328団、団員数694,173人が加入する日本で有数の青少年団体です。(H29年度登録)

千曲市スポーツ少年団の平成30年度登録数は、15団、316人(男子236人 女子80人)で千曲市スポーツ協会に加盟しています。

地域の子どもたちが地域の指導者や保護者に支援され、また、複数のスポーツ競技を経験できる体制もあり、子どものスポーツ振興施策として国・県もその活動支援に努めているところですが、今後一層活動の趣旨や内容などの広報に努め、加入者の増加を図るとともに、指導者・母集団の育成を図ることが課題とされます。

◇千曲市スポーツ少年団の推移 (団、人)

	団 数	団員数	指導者数
H25年度	23	421	166
H26年度	22	402	168
H27年度	17	362	141
H28年度	17	311	138
H29年度	15	319	116

■地域育成会

各地域に組織される「育成会」は、地域伝承の祭りや諸行事にはじまり、清掃や資源回収など地域に深く根ざした活動を行うなかで、剣道や野球など定期的なスポーツ活動や、ボウリングなどレクリエーションに取り組む地区もあり、地域のおとなと子どもで作り上げる有効なスポーツ活動の場となっています。

(4) 体育施設と利用状況

千曲市の社会体育施設の設置状況は、6体育館をはじめ各種体育施設が整備され活発に利用されています。また、高齢者に広く親しまれているマレットゴルフのコースや、地域の運動場が多く整備されている特色があると云えます。

運営方法としては、更埴地区6施設を指定管理制度により運営する以外は、市が直営体制により運営しておりますが、より合理的、経済的な運営方法について研究し、経費の節減などに努めなければなりません。

◇千曲市が管理する体育施設数 (H30年4月現在)

施設の名称	設置数	施設の名称	設置数
体育館	6	マレットゴルフ (ホール)	270
柔道場 (箇所)	2	弓道場	1

千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)					
団体名	会 員 数	団体名	会 員 数	団体名	会 員 数
OB野球連盟	135	ゲートボール協会	176	ちくまバレーボール協会	214
剣道連盟	57	スキークラブ	38	ビューティー体操	88
卓球協会	57	マレットゴルフ協会	479	ゴルフ協会	170
柔道協会	40	射撃協会	20	早起き野球連盟	439
バスケットボール協会	98	空手道連盟	154	水泳クラブ	52
テニス協会	165	スポーツ少年団	485	武術太極拳連盟	329
バドミントン協会	67	里山トレッキングクラブ	75	ハンドボール協会	245
フィットネスクラブ	15	サッカー協会	832	ちくま合気道会	9
少林寺拳法協会	65	ソフトバレー協会	167	杏樹RGクラブ	53
陸上部	19	ソフトテニス協会	77	スポーツレック協会	19
ソフトボール協会	411	弓道協会	70	合計	5,320

■スポーツ少年団は、東京オリンピックを2年後に控えた昭和37年に、財団

法人日本体育協会が「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設し、現在では全国で団数35,305団、団員数807,631人が加入する日本で有数の青少年団体です。(H24年度登録)

千曲市の平成24年度登録数は、23団、485人(男子338人 女子147人)で市体育協会に加盟しています。

地域の子どもたちが地域の指導者や保護者に支援され、また、複数のスポーツ競技を経験できる体制もあり、子どものスポーツ振興施策として国・県もその活動支援に努めているところですが、今後一層活動の趣旨や内容などの広報に努め、加入者の増加を図るとともに、指導者・母集団の育成を図ることが課題とされます。

◇千曲市スポーツ少年団の推移 (団、人)

	団 数	団員数	指導者数
H20年度	22	655	193
H21年度	22	601	194
H22年度	22	600	190
H23年度	23	578	189
H24年度	23	485	172

■地域育成会

各地域に組織される「育成会」は、地域伝承の祭りや諸行事にはじまり、清掃や資源回収など地域に深く根ざした活動を行うなかで、剣道や野球など定期的なスポーツ活動や、ボウリングなどレクリエーションに取り組む地区もあり、地域のおとなと子どもで作り上げる有効なスポーツ活動の場となっています。

(5) 体育施設と利用状況

当市の社会体育施設の設置状況は、6体育館をはじめ各種競技施設が整備され、特に平成19年10月には日本サッカー協会の支援を受け戸倉地域に人工芝サッカー場が整備されました。

また、特色として、マレットゴルフコースや地域の運動場が多く整備されています。運営方法としては、更埴地区7施設を指定管理制度により運営する以外は、市が直営体制により運営しておりますが、より合理的、経済的な運営方法について研究し、経費の節減などに努めなければなりません。

また、利用者や利用団体が多く、予約希望に十分に答えられない状況があり、予約方法やシステムの導入など検討しなければなりません。

◇千曲市の体育施設数 (H24年4月現在)

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)						千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)					
剣道場 (箇所)	2	地区広場	5			施設の名称	設置数	施設の名称	設置数		
野球グラウンド (面)	13	プール (箇所)	1			体育館	6	マレットゴルフ (ホール)	270		
サッカー場 (面)	3	トレーニングルーム	1			柔道場 (箇所)	2	弓道場	1		
テニスコート (面)	18	陸上競技場	2			剣道場 (箇所)	2	地区広場	5		
ゲートボールコート (面)	17					野球グラウンド (面)	13	プール (箇所)	2		
◇体育施設利用者数 (人)						◇体育施設利用者数 (人)					
地 域	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	地 域	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
更埴地域	85,931	81,435	84,363	83,039	55,946	更埴地域	192,251	193,845	205,891	206,854	212,581
戸倉地域	45,723	54,390	46,286	56,081	59,982	戸倉地域	133,572	138,522	141,968	172,078	185,009
上山田地域	14,109	14,025	14,336	83,039	55,946	上山田地域	36,827	35,479	33,846	43,579	44,571
合 計	145,763	149,850	144,985	155,145	135,104	合 計	364,650	367,846	381,705	422,511	442,161
※ 平成 29 年度の更埴地域の数値は、旧更埴体育館が建替えのため 8 月までの利用となったため他の年度と大きく異なる。											
第 3 章 「市民みなスポーツ」を目指して						第 3 章 「市民みなスポーツ」を目指して					
<p>1. 子どものスポーツを応援</p> <p>平成 29 年度に全国で実施した「※全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、体力合計点を平成 20 年度の調査開始以降における推移と比較してみると、小学校 5 年生男子は横ばい、中学校 2 年生男子は若干の増加傾向、女子はいずれも向上傾向でした。昭和 60 年度の調査結果 (昭和 39 年度から実施している「体力・運動能力調査」) と比較できる各テスト項目については、多くの項目で昭和 60 年度の結果を下回っていることが報告されました。</p> <p>平成 30 年度の千曲市調査においても、「いま何か運動やスポーツを、週に 1 回以上していますか (授業以外)」の回答は、小学生では 72.9% で平成 25 年調査時と比較して 74.2% より 1.3 ポイント減少しています。</p> <p>子どものスポーツ活動は、身体を動かすことの楽しさやスポーツする喜びを体験し、生涯にわたり積極的に運動・スポーツに親しむ習慣を養うことが大きな目的です。</p> <p>スポーツが得意な子どもも、あまり得意でない子どもも、それぞれの子どもにあった形でスポーツの価値を享受できるよう、関係団体と連携を図りながら取り組みます。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■スポーツ少年団活動の推進</p> <p>○青少年の心身の健全な成長を目的に、スポーツ少年団の育成を進めます。</p> <p>○指導者の育成、指導技術の向上などの支援を行います。</p> <p>■トップアスリートによる教室</p> <p>○子どもたちのスポーツに対する関心を高めるとともに、将来に向けた行動への動機付けを図るため、トップアスリートに直接触れ合うことのできる機会を提供します。</p> <p>■スポーツ教室の推進</p> <p>○千曲市スポーツ協会と連携したスポーツ教室開催事業を進めます。</p> <p>千曲市スポーツ協会が中心となり、ジュニア対象のスポーツ教室を開催 していますが、開催時期、回数、会場や内容など、より一層子どもたちが参加しやすく充実した教室を目指します。</p> <p>また、短期間でなく長期に実施できる体制づくりも必要です。</p> <p>■スポーツに「ふれあう・体験する」事業の推進</p> <p>○幼児にスポーツの楽しさを体験する事業を進めます。</p>						<p>1. 子どものスポーツを応援</p> <p>文部科学省が行っている「※全国体力テスト (H25 年実施)」において、体力合計点は、小学校男女は 5 年間でほとんど変化はみられず、中学校男女はともに 5 年間で平成 24 年度が最も高かったことが報告されました。</p> <p>長期的にみると、昭和 60 年ごろから現在まで低下傾向が続いていることに併せ、体力が高い子どもと低い子どもの格差が広がっていることが報告されています。</p> <p>また、体育の授業を除く 1 週間の運動時間を中 2 女子の 23.5% が「ゼロ」と答え、3 年前より 6.2% 増加し、小 5 の男女、中 2 男子も増加し、全国的には、運動しない子どもが増えている実態が明らかになりました。</p> <p>平成 25 年千曲市調査においても、「いま何か運動やスポーツを、週に 1 回以上していますか (授業以外)」に対し、小学生では 74.2% で平成 20 年調査の 80.2% より 6% 減少していることが見られます。</p> <p>子どものスポーツ活動は、身体を動かすことの楽しさやスポーツする喜びを体験し、生涯にわたり積極的に運動・スポーツに親しむ習慣を養うことが大きな目的です。</p> <p>スポーツが得意な子どもも、また、あまり得意でない子どもも、それぞれの子どもにあったスポーツを楽しむ環境の整備を、関係団体と連携をとりながら進めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※全国体力テスト</p> <p>小 5 と中 2 が対象。実技は 8 種目で、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m 走、立ち幅跳びのほか、小学生はソフトボール投げと 20m シャトルラン、中学生はハンドボール投げと、シャトルランか持久走を選択実施する。</p> </div> <p>具体的な取り組み</p> <p>■スポーツ少年団活動の推進</p> <p>○青少年の心身の健全な成長を目的に、スポーツ少年団の育成を進めます。</p> <p>○指導者の育成、指導技術の向上などの支援を行います。</p>					

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
<p>総合型スポーツクラブなどと連携し、サッカーや野球など競技スポーツの楽しさを親子で遊びながら体験し、今後のスポーツ活動への導入となるようなスポーツ体験事業を実施します。</p> <p>○小・中学生の「学校授業にないスポーツ」体験事業を進めます。</p> <p>子どもたちが「やってみたいスポーツ」を、クラスや地域単位など親子で一緒に受講し、スポーツの楽しさや、健康におけるスポーツの位置づけについて、親子で体験する事業を行います。</p> <p>■中学生のスポーツを支援</p> <p>○中学生の部活動を応援するため、関係機関と連携しながら、指導者の発掘、育成、派遣等の支援を行います。</p> <p>○総合型スポーツクラブ等と連携しながら、部活動以外でも気軽にスポーツができる場を提供します。</p> <p>■指導者の育成</p> <p>○現在活動している指導者の更なる資質の向上に併せ、新たな指導者の育成を支援します。</p> <p>○スポーツを「ささえる」ことにより享受できる価値を、広く市民に周知します。</p>	<p>■トップアスリートによる教室や大会</p> <p>○子どもたちのスポーツに対する関心や、将来に向けた活動への動機付けを図るため、トップアスリートに直接触れ合うことのできる事業を実施します。</p> <p>■スポーツ教室の推進</p> <p>○体育協会と連携したスポーツ教室開催事業を進めます。</p> <p>体育協会が中心となり、ジュニア対象のスポーツ教室を開催していますが、開催時期、回数、会場や内容など、より一層子どもたちが参加しやすく、充実した教室を目指します。また、短期間でなく長期に実施できる体制づくりも必要です。</p> <p>■スポーツに「ふれあう・体験する」事業の推進</p> <p>○幼児に「スポーツ・あそび」の楽しさを体験する事業を進めます。</p> <p>サッカーや野球など、競技スポーツの楽しさを、親子で遊びながら体験し、以降のスポーツ活動への導入となる楽しめる事業を行います。</p> <p>○小・中学生の「学校授業にないスポーツ」体験事業を進めます。</p> <p>子どもたちが「やってみたいスポーツ」を、クラスや地域単位など親子で一緒に受講し、スポーツの楽しさや、健康におけるスポーツの位置づけについて、親子で体験する事業を行います。</p> <p>○子供の体力・運動能力向上に積極的に働きかけたり、また意見を聞きながら、スポーツに苦手意識のある子どもでも気軽に参加できる事業を行います。</p> <p>■中学生の部活動を支援</p> <p>○中学生の部活動を応援するため、関係団体と協議を進め、指導者の発掘、育成、派遣等に積極的に取り組みます。</p> <p>■指導者の育成</p> <p>○現在活動している指導者の更なる資質の向上に併せ、新たな指導者の育成を支援します。</p> <p>○幼児期から中学生期までの成長段階に応じて作成した「長野県版運動プログラム」など、県などが推進する研修に参加奨励また招致し、指導者育成を図ります。</p>
<p>2. おとなのスポーツを応援</p> <p>平成 30 年千曲市調査では、「あなたは一週間に 1 回以上運動、スポーツをしていますか」に対し、「している」とした人が 43.8%で、前回調査の 50.4%を下回りました。全国における目標値である 65.0%を目指すためには効果的なスポーツ推進施策を展開する必要があります。</p> <p>スポーツをしない理由として最も多かったのが、「忙しくて時間が無い」との回答でしたが、最初の一步を踏み出すきっかけづくりを支援することが求められています。</p> <p>成人のスポーツ活動は、余暇時間を有効に活用し生活に潤いをもたらすことに加えて、自分に合った楽しく継続できるスポーツや運動を通して、「自分の健康を自ら守る」という意識につながります。</p> <p>本計画では、特に成人のスポーツについて、競技スポーツに加え、散歩・トレッキング・ウォーキングなど一人でも気軽に取り組める有酸素運動や、自然や温泉に恵まれた当市の環境を活かした野外活動をライフスタイルに取り入れることを提唱し、それらの活動を含めた成人のスポーツ実施率を平成 40 年度 (2028 年度) までに、国、県の目標と同様に 65%以上にすることを目標とします。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■スポーツに関する情報の発信</p> <p>○市報ちくま、ホームページの充実や、千曲市スポーツ協会や千曲市スポーツ推進委員などによるスポーツ</p>	<p>2. おとなのスポーツを応援</p> <p>平成 25 年千曲市調査では、「あなたは一週間に 1 回以上運動、スポーツをしていますか」に対し、「している」とした人が 50.4%で、これは平成 20 年同調査の 43.9%を上回り、平成 25 年度の目標であった 50%を達成しましたが、一層スポーツ実施率の向上を目指さなければなりません。</p> <p>成人のスポーツ活動は、余暇時間を有効に活用し、生活に潤いをもたらすことに併せ、自分に合った楽しく継続できるスポーツや運動を通して、「自分の健康を自ら守る」ことは大きな目的であります。</p> <p>本計画では、特に成人のスポーツについて、競技スポーツに加え、散歩・トレッキング・ウォーキングなど一人でも気軽に取り組める有酸素運動や、自然や温泉に恵まれた当市の環境を活かした野外活動をライフスタイルに取り入れることを提唱し、それらの活動を含めたスポーツ実施率を平成 30 年度までに、国、県の目標に並び、65%以上にすることを目標とします。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■情報の発信</p> <p>○情報の発信方法について研究をし、広報、ホームページの充実や、体育協会やスポーツ推進委員会による広報活動を支援するなど、積極的かつ効果的な情報発信に努めます。</p> <p>○特に市民の関心が高いウォーキングなど「有酸素運動」については、ソフト・ハード両面の情報提供を心がけ、運動実施率の低い年代などへも強く働きかけながら、広報活動を強化します。</p> <p>■体育協会の活動支援と組織の充実</p>

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
<p>に関する情報の発信を支援するなど、あらゆる市民に情報を届ける工夫を行います。 ○特に市民の関心が高いウォーキングなどについては、始めるきっかけづくりを推進します。</p> <p>■千曲市スポーツ協会の活動支援と組織の充実</p> <p>○千曲市スポーツ協会や協会加盟団体が実施する大会、スポーツ教室等に対し、補助金などを通じて支援します。 ○千曲市スポーツ協会加盟団体への新規加入者増を図るため、活動メニューの魅力アップや活動内容の周知等を支援します。</p> <p>■総合型地域スポーツクラブ</p> <p>○子どもから大人まで、生涯スポーツの振興を目的に活動する総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、スポーツをやってみたいという思いを持つ市民を後押しします。</p> <p>■健康運動・スポーツの普及</p> <p>○健康志向の高まりに応え、特に個人や家族で手軽に取り組めるウォーキング、ジョギング、体操やトレーニングを奨励し、紹介する事業を行います。 ○生活習慣病予防のため、体を動かす機会が少なくなりがちな働き盛りの世代が、日常的な運動に取り組めるよう、健康診断等機会を通じて意識啓発に努めます。 ○運動実施率の低い子育て世代の女性をターゲットにした「親子で参加、もしくは取り組める運動・スポーツ」の事業化を図り、家族のコミュニケーション醸成と、家族での活動を動機付けとした若年世代の運動実施率の向上を図ります。</p> <p>■千曲ランの推進</p> <p>○温泉とランニングを気軽に楽しめる「千曲ラン」を、千曲市ならではのライフスタイルとして市民に PR し、参加者の拡大を図ります。 ○千曲ランの趣旨を日帰り温泉事業者に広く周知し、協力事業者の増加を図ります。</p> <p>■千曲川ハーフマラソンの魅力向上</p> <p>○千曲川ハーフマラソンを、健康増進のためジョギングに取り組む市民の目標となる大会となるよう、千曲ランと連携しながら周知を図ります。 ○市外からの参加者増をめざし、大会の魅力を高めていきます。特に戸倉上山田温泉関係団体との連携を深め、温泉とスポーツをセットで楽しむことができる大会として情報発信に努めます。</p>	<p>○体育協会や協会加盟団体が実施する大会、スポーツ教室等に対する補助金制度を整備します。 ○新規加入者増を図るため、初心者でも加入しやすい体制づくりや事業実施を支援します。</p> <p>■各種団体の活動支援</p> <p>○国や県の補助金等を研究し、各種団体が市民のスポーツ活動の振興を目的に実施するイベントや教室等を支援します。</p> <p>■総合型地域スポーツクラブ</p> <p>○子どもから大人まで、生涯スポーツの振興を目的に活動する総合型地域スポーツクラブについて、その活動を支援します。</p> <p>■健康運動・スポーツの普及</p> <p>○健康志向の高まりに応え、特に個人や家族で手軽に取り組めるウォーキング、ジョギング、体操やトレーニングを奨励し、紹介する事業を行います。 ○生活習慣病予防のため、体を動かす機会が少なくなりがちな働き盛りの世代が、日常的な運動に取り組めるよう、健康診断等機会を通じて意識啓発に努めます。 ○運動実施率の低い 20 代～40 代への取り組みとして、「親子で参加、もしくは取り組める運動・スポーツ」の事業化を図り、家族のコミュニケーション醸成と、家族での活動を動機付けとした若年世代の運動実施率の向上を図ります。</p> <p>■千曲市の自然や資源を取り入れた事業</p> <p>○スポーツ事業に、温泉や千曲市の自然環境を取り入れた、多目的の事業を実施します。</p> <p>■広く市外に発信する魅力ある事業</p> <p>○現在開催している「千曲川ロードレース大会」「おぼすてマラソン」や、その他の大会について、市民だけでなく、市外からも「参加してみたいくなる」スポーツ大会の構築を目指します。</p> <p>■安全なスポーツ活動を目指して</p> <p>○専門家を講師とする講習会等の開催により、スポーツ事故を未然に防止 するための啓発活動を行います。</p>
<p>3. 高齢者のスポーツを応援</p> <p>平成 30 年千曲市調査では、60 代、70 代、80 代の運動実施率が高い傾向にあることがわかりました。介護予防の観点に加えて、地域に多くの元気な高齢者がいてくれることは、地域活性化に直結するものでもあります。 成人のスポーツ活動を推進するにあたり、とりわけ高齢者は寝たきりの予防、高齢期の生きがいをづくりを目指し、地域の人々とふれあいながら実施できる運動、スポーツ活動を推進します。 また、温泉施設やマレットゴルフなど高齢者の関心が高い施設等を有効に活用した事業を展開する一方、年代を超え、若年のスポーツと思われるものへも積極的に挑戦できる体制を整えます。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■高齢者が無理なく身体活動に取り組める運動・スポーツ機会の充実</p> <p>○生きがいをづくりや介護予防の観点からも高齢期におけるスポーツ活動が積極的に取り組まれるよう支援します。</p> <p>■ニュースポーツの普及</p>	<p>3. 高齢者のスポーツを応援</p> <p>成人のスポーツ活動を推進するにあたり、とりわけ高齢者は寝たきりの予防、高齢期の生きがいをづくりを目指し、地域の人々とふれあいながら実施できる運動、スポーツ活動を推進します。 また、温泉施設やマレットゴルフなど、高齢者の関心が高い施設等を有効に活用した事業を展開する一方、年代を超え、若年のスポーツと思われるものへも積極的に挑戦できる体制を整えます。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■高齢者が無理なく身体活動に取り組める運動・スポーツ機会の充実</p> <p>○生きがいをづくりや介護予防の観点からも高齢期におけるスポーツ活動が積極的に取り組まれるよう支援します。</p> <p>■ニュースポーツの普及</p> <p>○室内でも気軽にできるニュースポーツを紹介し、地域の高齢者が地域で楽しく体を動かせるスポーツを紹介するとともに、スポーツを通じて楽しく集える機会を増やすことに努めます。</p> <p>■「集い」などへの指導者派遣</p> <p>○高齢者の集まる「寄り合い」などでは、短時間でも楽しんで行える体操の時間を設けることを提唱</p>

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
<p>○室内でも気軽にできるニュースポーツを紹介し、地域の高齢者が地域で 楽しく体を動かせるスポーツを紹介するとともに、スポーツを通じて楽しく集える機会を増やすことに努めます。</p> <p>■「集い」などへの指導者派遣</p> <p>○高齢者の集まる「寄り合い」などでは、短時間でも楽しんで行える体操 の時間を設けることを提唱し、指導者の派遣を行います。</p> <p>○高齢者対象の出前講座などの要請に、応えられる体制づくりを行います。</p> <p>■高齢者スポーツ指導者の育成</p> <p>○高齢者の特性や求めるニーズを把握し、適切な指導ができる指導者の育 成を図ります。</p> <p>■スポーツ教室・イベントの開催</p> <p>○高齢者に人気のスポーツ種目に加え、球技などについても各種団体と協 力し、高齢者対象教室の開催を行います。</p> <p>○スポーツ単独事業ではなく、千曲市の資源（温泉など）を活用し、集うたのしみを付加したイベントに取り組みます。</p>	<p>し、指導者の派遣を行います。</p> <p>○高齢者対象の出前講座などの要請に、応えられる体制づくりを行います。</p> <p>■高齢者スポーツ指導者の育成</p> <p>○高齢者の特性や求めるニーズを把握し、適切な指導ができる指導者の育成を図ります。</p> <p>■スポーツ教室・イベントの開催</p> <p>○高齢者に人気のスポーツ種目に加え、球技などについても各種団体と協力し、高齢者対象教室の開催を行います。</p> <p>○スポーツ単独事業ではなく、千曲市の資源（温泉など）を活用し、集うたのしみを付加したイベントに取り組みます。</p>
<p>4. 障がい者のスポーツを応援</p> <p>オリンピック・パラリンピックなどで障がい者のアスリートも注目されるなか、障がい者が気軽にスポーツを楽しめる環境を整えていくことで、誰もがスポーツの価値を享受できる環境を整える必要があります。障がい者に限らず高齢者なども含め、その福祉事業や社会のインフラ整備は、*「ノーマライゼーション」をキーワードに、地域や社会のなかで共に生きていく考え方が構築されつつあり、社会全体として多角的に整備されています。</p> <p>しかし、障がい者の運動、スポーツ活動については、それぞれの個性を深く理解し適切なアドバイスや指導ができることが重要で、ライフスタイルに体を動かす楽しみを提案できる体制づくりが必要です。</p> <div data-bbox="142 1161 1166 1304" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ノーマライゼーション 障がい者や高齢者が、社会の中で他の人々と同じように生活、活動することが社会の本来のあるべき姿であるという考え方</p> </div> <p>具体的な取り組み</p> <p>■障がい者スポーツ環境の整備</p> <p>○スポーツ推進委員や総合型スポーツクラブと連携し、障がい者が気軽に スポーツを楽しむことができる教室や大会を開催するなど、障がい者スポーツの普及・発展を支援します。</p> <p>■障がい者がスポーツを応援できる環境の整備</p> <p>○千曲川ハーフマラソンなどのスポーツイベントにおいて、障がい者もボ ランティアスタッフとして携わることができるような環境を整備し、スポーツを「みる」「ささえる」きっかけをつくります。</p> <p>■障がい者アスリートを支援</p> <p>○競技としての障がい者スポーツにおいて、高いレベルを目指す選手を支援します。</p> <p>■みんなで楽しめるニュースポーツ等の普及</p> <p>○障がい者が楽しめるニュースポーツを関係団体と研究し、併せて指導者 の育成を目指します。</p>	<p>4. 障がい者（児）のスポーツを応援</p> <p>長野市において、パラリンピックやスペシャルオリンピックスなど国際的なイベントが開催されたことは、隣接する本市においても、障がい者の諸活動に対して理解を深める機会となり、その事業成果をこれからの活動に活かしていかなければなりません。</p> <p>障がい者に限らず高齢者なども含め、その福祉事業や社会のインフラ整備は、*「ノーマライゼーション」をキーワードに、地域や社会のなかで共に生きていく考え方が構築されつつあり、社会全体として多角的に整備されています。</p> <p>しかし、障がい者の運動、スポーツ活動については、それぞれの個性を深く理解し適切なアドバイスや指導ができることが重要で、ライフスタイルに体を動かす楽しみを提案できる体制づくりが必要です。</p> <div data-bbox="1427 1234 2451 1377" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ノーマライゼーション 障がい者や高齢者が、社会の中で他の人々と同じように生活、活動することが社会の本来のあるべき姿であるという考え方</p> </div> <p>具体的な取り組み</p> <p>■スポーツ活動のコーディネート</p> <p>○パラリンピックやスペシャルオリンピックスの開催成果や継続事業を研究するとともに、広域的に活動情報の収集に努めます。</p> <p>○県や各機関との連携を図り、窓口を設置し、相談に対して情報提供をするとともに、スポーツ活動のコーディネートができるよう体制を整えます。</p> <p>■障害者アスリートを支援</p> <p>○パラリンピックやスペシャルオリンピックスなど各種大会に挑戦しているアスリートについて、大会出場のための補助制度を整備します。</p> <p>■みんなで楽しめるニュースポーツ等の普及</p> <p>○障がい者（児）が楽しめるニュースポーツを関係団体と研究し、併せて指導者の育成を目指します。</p>
<p>第4章 「競技スポーツの強化」を目指して</p>	<p>第4章 「競技スポーツの強化」を目指して</p>

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
<p>スポーツは、「遊びに始まり競技に終わる」と言われます。体力や競技技術を高め、県や国を代表する選手になれることは、スポーツを愛好する人の憧れであり、スポーツを続ける強い動機付けになります。また、地域にとってもスポーツ種目の振興をもたらすだけでなく、地域の活性化にも繋がり、スポーツを「みる」価値を高める効果をもたらします。スポーツの競技力向上を目指すとき、経験と熱意を持つ指導者がいることが重要ですが、同時に競技団体が、ジュニアから成人まで段階的・継続的に育成を図る体制が構築されていることが必要です。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■スポーツへの関心を高める事業の展開</p> <p>○スポーツと接する最初の入り口である幼児期からスポーツに触れ合えるイベントを企画します。 ○トップアスリートによる教室や大会を開催し、少年期にスポーツ活動への動機付けを図る事業を行います。</p> <p>■段階的・継続的な育成体制の整備</p> <p>◇スポーツ教室の充実 ○体育協会加盟各団体が開催しているジュニア対象のスポーツ教室について一層の充実を図ります。 ◇部活動を支援 ○アンケート結果からも、特に中学生のスポーツ活動は学校の部活動が基点となっています。部活動の一層の充実を目指し、教育機関と関係団体が「部活動のあり方」「部活動の充実」について協議し必要な「支援」を関係団体が連携して行える体制を整えます。 ◇段階的・継続的な指導體制の構築 ○特に選手強化を目的とし、競技団体、教育機関など関係団体が連携をとり、各競技ごとに一貫した指導が、継続的に行える体制づくりを関係団体と協議し、モデル事業の実施に取り組みます。</p> <p>■指導者の育成と発掘</p> <p>◇指導者の育成 ○現在指導にあたっている指導者については、一層その資質の向上を目指し必要な研修が受けられるよう、情報提供と支援を行います。</p> <p>■全国大会等への出場選手等の支援</p> <p>○スポーツ大会等出場奨励金交付要綱等により、全国や北信越レベルの大会に出場する選手、団体に対して費用面における支援を行います。</p>	<p>スポーツは、「遊びに始まり競技に終わる」と言われます。体力や競技技術を高め、県や国を代表する選手になれることは、スポーツを愛好する人の憧れであり、スポーツを続ける強い動機付けになります。また、地域にとってもスポーツ種目の振興をもたらすだけでなく、地域の活性化にも繋がり、もはや個人の荣誉にとどまりません。スポーツの競技力向上を目指すとき、経験と熱意を持つ指導者がいることが重要ですが、同時に競技団体が、ジュニアから成人まで段階的・継続的に育成を図る体制が構築されていることが必要です。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■スポーツへの関心を高める事業の展開</p> <p>○幼児期からスポーツに触れ合えるイベントを企画します。 ○トップアスリートによる教室や大会を開催し、少年期にスポーツ活動への動機付けを図る事業を行います。</p> <p>■段階的・継続的な育成体制の整備</p> <p>◇スポーツ教室の充実 ○体育協会加盟各団体が開催しているジュニア対象のスポーツ教室について、一層の充実を図ります。 ◇部活動を支援 ○アンケート結果からも、特に中学生のスポーツ活動は、学校の部活動が基点となっていることが伺えます。部活動の一層の充実を目指し、教育機関と関係団体が「部活動のあり方」「部活動の充実」について協議し、必要な「支援」を関係団体が連携して行える体制を整えます。 ◇段階的・継続的な指導體制の構築 ○特に選手強化を目的とし、競技団体、教育機関など関係団体が連携をとり、各競技ごとに一貫した指導が、継続的に行える体制づくりを関係団体と協議し、モデル事業の実施に取り組みます。</p> <p>■トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進</p> <p>○地域において、次世代アスリートが育成される環境を整備するとともに、将来、育成されたアスリートが指導者となる好循環のサイクルを確立します。</p> <p>■指導者の育成と発掘</p> <p>◇指導者の育成 ○現在指導にあたっている指導者については、一層その資質の向上を目指し、必要な研修が受けられるよう、情報提供と支援を行います。 ◇人材バンク ○「人材バンク制度」等を創設し、指導者の確保をするとともに、派遣の要望に応えられる体制を整えます。</p> <p>■全国大会等への出場選手等の支援</p> <p>○スポーツ大会等出場奨励金交付要綱等を運用し、全国や北信越レベルの大会に出場する選手、団体に対して経費支援を行います。</p>
<p>第5章 スポーツ施設・環境の整備と充実</p>	<p>第5章 スポーツ施設・環境の整備と充実</p>
<p>平成 30 年度に完成した「ことぶきアリーナ千曲」は、市民にスポーツ活動の場を提供するという本来の機能に加えて、プロバスケットボールチームである信州ブレイブウォリアーズのホームゲームなど、数多くのプロスポーツの試合が行われる施設としての役割も担っています。スポーツを「する」「みる」「ささえる」の 3 つすべてが交わる千曲市のスポーツ振興における拠点として、スポーツの価値を市内外に広く発信していく役割が期待されています。また、戸倉体育館周辺にはサッカー場、野球場、テニスコートなどがあり、上山田萬葉の里スポーツエリアや大西緑地には野球グラウンドやマレットゴルフコースが整備されるなど、市内各所の体育施設が多く</p>	<p>「更埴体育館」は、地域の「スポーツ活動の拠り所」としてだけではなく、「勤労青少年ホーム」「老人福祉センター」や公園などが隣接することから、広い年代の皆さんの余暇活動の拠点として、また、乳幼児や小学生の「遊び場」としての役割を果たしています。戸倉体育館周辺には、平成 19 年に日本サッカー協会の支援を受け、人工芝のサッカー場が整備されました。また、近隣には「上山田萬葉の里スポーツエリア」などにマレットゴルフコースが整備され、「戸倉上山田温泉」など観光資源と併せ、市内だけでなく、県外からも合宿などで多くの人が訪れ、千曲市を市内外に発信する「魅力」のひとつとなっています。</p>

スポーツ振興懇話会資料 (310220)

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
<p>民に利用されています。</p> <p>また、戸倉上山田温泉を中心として、市外県外から合宿などで多くの人を訪れており、温泉とスポーツの組み合わせは千曲市のおおきな魅力であると言えます。</p> <p>しかし、施設の中には老朽化が進み改修や修繕を必要とする箇所が多いことから、公共施設再編計画等とバランスを図りながら、適切に維持管理を行います。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■料金体系等の見直し</p> <p>○体育施設の運営方法について、利用者の観点から適切であるか検討し、必要な見直しを行います。また、使用料については、「受益者負担」の考え方を基本とし、他の公共施設等の状況も踏まえ市全体として検討し、適切な使用料を設定します。</p> <p>■市民協働の推進</p> <p>○協働のまちづくりの一環として、地域に密着した体育施設の維持管理を、利用者や地域住民と一緒に担うことができるよう協力を。</p> <p>■施設の改修、設備の充実</p> <p>○老朽化した施設の改修、修繕や設備の充実を計画的に進めるなど、利用者の利便を図り、子どもや女性、高齢者、障がい者を含む全ての地域住民が安全で快適にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。</p> <p>○備品等については定期的に点検を行い、必要な備品の確保に努める一方、使えるものは極力補修など行い、経費の節減に努めます。</p> <p>■学校体育施設の有効活用</p> <p>○市内小中学校の体育施設は、学校行事に支障をきたさない範囲で最大限の有効活用を図ります。</p> <p>■指定管理者制度の導入</p> <p>○指定管理者制度を導入することによって、施設管理やサービスの向上が図られる施設については、移行を進めます。</p> <p>■新たな施設の建設</p> <p>◇総合運動公園構想の策定</p> <p>○野球場を含む総合運動公園構想の策定を進め、その実現に向けた調査・研究に取り組みます。</p> <p>■体育施設の合理的な設置</p> <p>○現在、設置されている体育施設について、利用の少ない施設や、設置効果の低い施設については見直しを行い、合理的でかつ経済的な施設設置を目指します。</p>	<p>しかし、施設の中には老朽化が進み (更埴体育館：昭和 47 年完成 戸倉体育館：昭和 52 年完成) 改修や修繕を必要とする箇所が多く、財政面を考慮しながら計画的に進めている状況です。</p> <p>スポーツ施設の設置数や種類について、十分であるか判断が困難なところですが、まずは現在整備された施設について、その魅力を十分にPRするとともに、有効に活用できる運営体制を実現しなければなりません。</p> <p>また、新規の施設設置については、総合的なスポーツエリアの建設や、硬式野球ができるグラウンドなど要望がありますが、地域的な状況や長期的な展望に立ち、ひとつの目的を達するだけでなく、広く社会的ニーズに応えられるよう、皆で検討しなければなりません。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■料金体系等の見直し</p> <p>○体育施設の運営方法について、利用者の観点から適切であるか検討し、必要な見直しをします。また、使用料については、「受益者負担」の考え方、基準について、他の公共施設等も踏まえ市全体として検討し、適切な使用料を設定します。</p> <p>■市民協働の推進</p> <p>○地域に密着した施設の維持管理の手段として、利用者、地域住民による施設の清掃、美化活動の協力を呼びかけます。</p> <p>■施設の改修、設備の充実</p> <p>○老朽化した施設の改修、修繕や設備の充実を計画的に進めるなど、利用者の利便を図り、子どもや女性、高齢者、障がい者を含む全ての地域住民が安全で快適にスポーツに親しめる環境づくりを進めます。</p> <p>○備品等については定期的に点検を行い、必要な備品の確保に努める一方、使えるものは極力補修など行い、経費の節減に努めます。</p> <p>■学校体育施設の有効活用</p> <p>○小・中学校の体育施設は、現在も学校行事に支障をきたさない範囲で社会体育に利用していますが、学校関係者と協議する中で、より効果的な環境整備を図ります。</p> <p>■指定管理者制度の導入</p> <p>○指定管理者制度を導入することによって、施設管理やサービスの向上が図られる施設については、移行を進めます。</p> <p>■新たな施設の建設</p> <p>◇市民球場、総合運動公園</p> <p>○市民球場や総合運動公園の建設については、単にスポーツ施設としてだけでなく、市民の集う「複合的な役割」を果たすことができるよう、財政面や利用計画など多角的に検討し、構想をまとめます。</p> <p>■施設予約システムの構築</p> <p>○施設の空き状況の確認や予約が、インターネット等により可能となるシステムの構築を進めます。</p> <p>■体育施設の合理的な設置</p> <p>○現在、設置されている体育施設について、利用の少ない施設や、設置効果の低い施設については見直しを行い、合理的でかつ経済的な施設設置を目指します。</p>
	第6章 地域特性を活かしたスポーツイベント

第二次千曲市スポーツ推進基本計画 (H31)	千曲市スポーツ推進基本計画 (H26)
	<p>千曲市のスポーツイベントについては、市体育協会やスポーツ推進委員会を中心に、初心者から参加できる大会など幅広く開催されています。</p> <p>また、「寿野球全国大会」や「千曲川ロードレース大会」「おぼすてマラソン大会」などには、市外からも多くの人を訪れ、スポーツイベントだけでなく、千曲市の自然や温泉など「地域の資源」を楽しんでいただいています。</p> <p>特に最近では、成人層における健康志向が高まるにつれ、ウォーキングやトレッキングなど、スポーツ施設から飛び出し、活動場所を限定しない「アウトドア」と呼ばれる活動が注目を集めています。これは、前に述べたとおり、「健康づくり」に有効な活動であり、千曲川に沿って整備されたマレットゴルフ場、サイクリングロードや、大池、姨捨などの自然、また温泉に恵まれた本市においては、活動の場所として最適な環境です。</p> <p>今後も「自然の恵み豊かな千曲市」を踏まえ、豊かな自然の中で、スポーツが楽しめるイベントを企画し、市内外に発信する「千曲市の魅力」に育てていきます。</p> <p>具体的な取り組み</p> <p>■地域の特色を活かした事業の推進</p> <p>○千曲市の資源である「温泉」「自然」や、千曲市の *ホスピタリティを、スポーツとともに味わえるイベントの構築を図るとともに、市の施設や特色を広くアピールし、各種大会や大会の招致を、観光関係団体等と連携をとりながら推進し、市内外に発信します。</p> <div data-bbox="1418 934 2181 1071" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※ホスピタリティ お互いを思いやり、手厚くもてなすこと。 利用者の満足を得るためには欠かせない精神です。</p> </div> <p>○スポーツイベント等において、地元企業、学校、地域との連携、協働の強化に努め、スポーツを地域振興に積極的に活用していきます。</p> <p>○スポーツボランティアを募り、協力しながら事業展開を図ることにより、一層の事業効果の幅を広げるとともに、市民へのスポーツ推進事業の理解と盛り上がりを目指します。</p> <p>■現在開催している大会の見直し</p> <p>○現在、市が推進している各種大会、イベント等の「あり方」を見直し、参加者が更に楽しめる企画を進めます。</p> <p>■プロスポーツによる地域の活性化</p> <p>○千曲市を拠点として活動するプロバスケットボールチーム「信州ブレイブウォリアーズ」を支援し、見る、支える、地域のブランドスポーツとし、千曲市の新しい資産として盛り上げていきます。</p>